

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表日: R6年 3月(令和5年度)

事業所名 発達支援支援施設 はじめの一步花見事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	訓練室①、②に分けて活動を提供することが出来ている	次年度も継続
	2	職員の配置数は適切であるか	10	0	配置基準以上の人員を配置	次年度もこの人数を維持して運営
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	1	活動時は見通しを持ちやすいように配慮している	施設の環境設備は賃貸物件という事もありバリアフリー化は現状難しい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	1	保育室のクッションマットの入れ替えを行い新しい物にする。療育後の室内、遊具、玩具等の消毒を行っている。	劣化や衛生面で問題が生じる際は速やかに新しいものを入れ替えを行う。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	2	日々の申し送りノート記載事項は職員皆確認する。定期的な会議、日々の活動前と後のミーティングを行い目標設定と振り返りを行っている。	次年度も継続
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	年1回実施。意見は事業所内部で共有。改善等を行う場合は改善策を保護者に周知している	次年度も継続
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	2	ホームページ公開・事業所内掲示している	事業所内の掲示、HPと公開をしているが職員の認知不足がある。情報共有をしっかりと行っていく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	4		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	オンライン研修の活用	次年度オンライン研修を積極的に活用していく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	1	聞き取りニーズを把握し計画書の作成を行っている	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	3	個々の状況に合わせて、発達支援のみならず、家族支援、地域支援が設定されている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	計画作成会議に担当スタッフが参加し、情報共有、支援へと繋げている。	半期以内で見直し最善の支援が出来るように努める
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1	担当ごとに計画を立案。関係職員が適切に意見を出し合っている	準備に関しては、他の職員の協力できる体制づくりを目指す
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	1	領域が偏らないように月案作成をして	今年度同様に年間カリキュラムを作成し、5領域に対して支援できるように努める
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9	1	個々の特性に応じて計画作成をしている	次年度も継続
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	朝礼、終礼療育の打ち合わせを毎日行っている	次年度も継続
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	0	療育終了後には、担当職員で振り返り、ノートにも記載し全職員への周知を行っている	次年度も継続
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	ケースの記録、定期的な会議により支援の改善につなげている	次年度も継続
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0	半期に一度実施。必要に応じて計画書の見直しを行う	5領域を踏まえた支援計画の様式に変更
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	1	管理者、児発管、療育担当者のいずれかが参加している。	次年度も継続	

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10	0	相談支援専門員が中心となり連携、対応を確認し支援にあたっている。	次年度も継続
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	6	現状、医療的ケア児を受け入れることが出来る職員等を配置していない	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	6		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	1	該当児については関係機関との情報共有を行っている	次年度も継続
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	3	利用終了から就学、進学に移行する際の担当者会議での情報共有を実施。古賀西、福岡事業所とは放課後等デイサービスへの移行に向けて協議の場を設けている	次年度も継続
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	3	行政・支援センター主催の会議には基本参加している	積極的に会に参加することで他機関との連携にも繋げる
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	6	コロナ前は姉妹園との交流有。今年も実施出来ず	姉妹園交流の再開に向けて園側との協議を図っていききたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	4	行政・支援センター主催の会議には基本参加している	積極的に会に参加することで他機関との連携にも繋げる
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	LINEや電話、送迎時に伝えている。保護者から同方法にて相談を受付、情報共有を行っている。	次年度も継続
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	9	1	ママカフェを実施し、対応力の向上、保護者同士のつながりを大事にしている。	次年度も継続
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	2	契約時に必ず説明をおこなっている	次年度も継続
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	2		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	モニタリングや送迎時、見学時において助言、支援を行っている	次年度も継続
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	1	ママカフェを実施し、対応力の向上、保護者同士のつながりを大事にしている	次年度も継続
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2	頂いたご意見は職員間で周知、改善が必要な場合は速やかに提示する	次年度も継続
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	0	会報はなく、LINEを活用。日々の様子は保護者にLINEを活用して報告。その他にも年に2回～3回活動報告動画をまとめて保護者に配信している	次年度も継続
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	2	外部に発信する情報には全て本人が特定されることが無いように配慮している	次年度も継続
	39	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	視覚支援ツールや文字で示しながら意思疎通、情報伝達を図っている	次年度も継続
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	6	地域住民と事業所との交流は無いが、年に数回、高齢者施設の交流イベントを実施	次年度もイベントの継続できるように進めていきたい
	非常	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	3	はじめの一步総合マニュアルとして作成している
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	児童と共に年2回実施	年2回の訓練に加え、職員のみで非常時に備えた訓練の実施を行う
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9	1	契約時に保護者に確認している	次年度も継続

時 等 の 対 応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	2	契約時にアレルギーの有無について聞き取りを行っている。アレルギー検査結果書を提出して頂いている	次年度も継続
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	1	事例が起こった際は、記録、事業所内でのフィードバック、共有、改善の話し合いを設ける	次年度も継続
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	令和5年度は2回実施 内1回は外部こうしによる研修	次年度も継続
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	1	身体拘束については契約時にて詳細を記載し契約時に説明を行う	次年度も継続